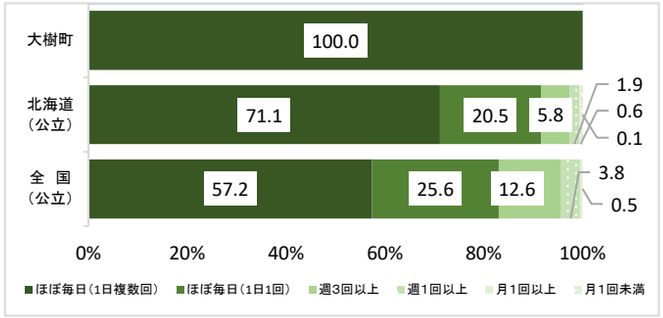
○ 質問調査の状況

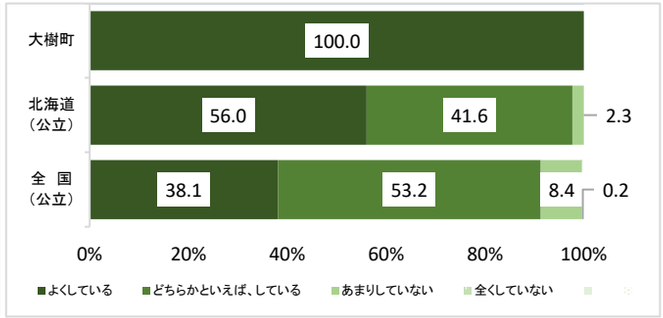
小学校
＜学校質問＞

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



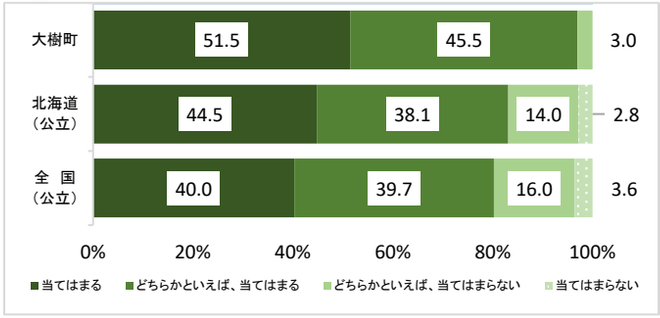
中学校
＜学校質問＞

総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか



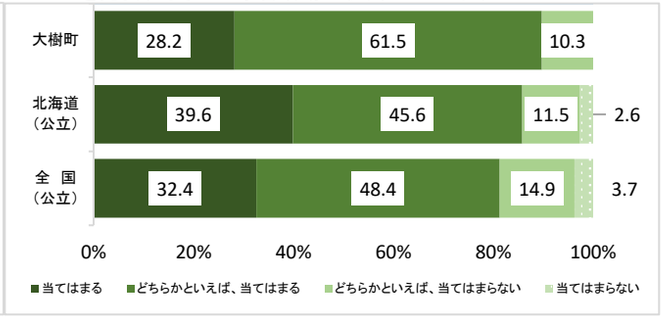
小学校
＜児童質問＞

総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか



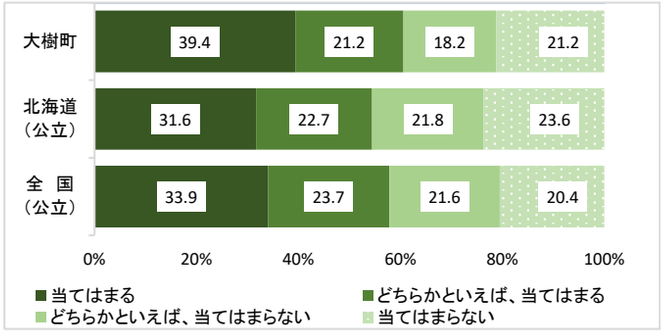
中学校
＜生徒質問＞

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



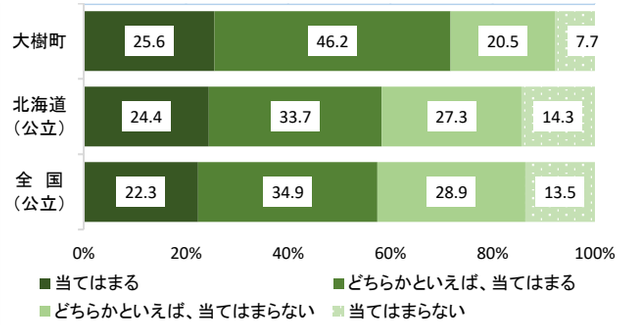
小学校
＜児童質問＞

算数の勉強は好きですか



中学校
＜生徒質問＞

国語の勉強は好きですか



○ 調査結果の分析

・小学校において、児童一人一人に配備されたタブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日複数の授業で活用したことにより、タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできる児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

・中学校において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をよく行ったことにより、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいる生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

・小学校の算数、中学校の国語が、全国を上回っている状況は、当該教科の勉強が好きと回答した児童[生徒]の割合が全国及び全道を上回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

・国語は全ての教科の基盤であることを踏まえ、粘り強く課題に向き合い、自分の考えをまとめさせるとともに、条件に沿って表現（記述など）する活動を充実させる。

・基礎的・基本的な理解を活用・応用につなげていく指導を充実させるとともに、学び直しや繰り返しの学習活動を充実させ、生きて働く確かな知識として定着を図る。

・学びを深めたり、学びの本質に迫るような、タブレットなどのICT機器の効果的な活用を推進する。